



The 6th flight, Flight Test Aircraft #2



“Program Update”

飛行試験の状況

飛行試験は2機体制で実施中です。

2号機においても、片エンジンでの飛行、補助動力装置の動作確認、失速試験といった、安全な飛行に不可欠となる緊急時対応の確認を行い、有効な試験結果を取得しています。また、北米へのフェリーフライトに向け以下項目も試験しています。

- 飛行領域を設計スペックまで拡大
最大速度(マッハ 0.78)、最高高度(39,000ft、約 11,900m)

- 計器飛行(雲中など視界の悪い状態で、計器に依存して飛行すること)への対応

- 対地接近警報装置、
空中衝突防止警報装置等の警報システムへの対応
など

飛行試験機3、4号機は、今夏の初飛行を目指し進捗中です。



“Team MRJ”

量産初号機が最終組立工程へ

6/29(水)、MRJ 量産初号機の胴体部品出荷式が、三菱重工(株)飛島工場で行われました。式では、製造を担当した三菱重工の工作部門と構造組立パートナー各社から、製作にあたっての苦労や完成の喜びが語られるとともに、今後の量産と最終組立に向け、“より良い飛行機をつくる”との決意と想いを共有しました。出荷された MRJ 胴体部品は、県営名古屋空港に隣接する MRJ 最終組立工場へ搬入され、ローンチカスタマー・ANA 様への 2018 年半ばの納入に向け、胴体結合などの最終組立工程に順次着手していきます。



“Hot Topic”

From Moses Lake Flight Test Center



Ready for Take Off!

モーゼスレイクフライトテストセンター(米国ワシントン州)では、飛行試験を実施するための準備を着々と進めています。

5月中旬から6月中旬にかけて、現地パートナーの AeroTEC 社とともに、飛行試験を模擬する「ドライラン」(予行演習)を実施しました。実際に小型機を使用したフライトを行い、準備～離陸・着陸に至るフライトオペレーションや、試験項目の実施・データ取得の一連の動きをリハーサルし、段取りの確認と課題の洗い出しを行いました。

三菱航空機、AeroTEC、装備品パートナーそれぞれの連携を深めつつ飛行試験開始に向けて取り組んでまいります。